

# 2017年3月期決算説明会

---

2017年 5月 17日  
日本アビオニクス株式会社



<b>商号</b>	日本アビオニクス株式会社 Nippon Avionics Co., Ltd.
<b>設立</b>	1960（昭和35年）年 4月 NECと米国ヒューズエアクラフト社との合併会社として発足
<b>株主</b>	NEC 50.004% その他 49.996%
<b>資本金</b>	58億9千5百万円（東証2部上場 証券コード：6946）
<b>連結子会社</b>	山梨アビオニクス、福島アビオニクス
<b>売上高</b>	連結 214億円 単独 213億円（2016年度）
<b>従業員数</b>	連結 999名 単独 747名（2016年度末現在）
<b>拠点</b>	本社：東京都品川区 事業所：横浜事業所、新横浜事業所 支店：府中、中部（名古屋）、西日本（大阪）
<b>事業内容</b>	情報システム、接合機器、赤外線機器、 プリント配線板の製造販売

電子機器

情報システム

プリント配線板

高度な信頼性が求められる  
防衛技術を民生へと展開

接合機器



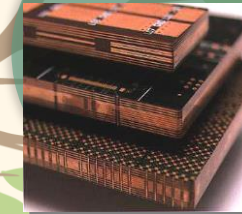
赤外線機器



ハイブリッドIC



プリント  
配線板



情報表示  
サブシステム



防空指揮管制  
システム  
から発展  
BADGE\*  
システム



対空戦闘  
指揮装置



\*BADGE : Base Air Defense Ground Environment  
自動警戒管制組織

# 目次

**1 . 2017年3月期決算**

2 . 2018年3月期通期業績予想

3 . 中期経営計画の進捗状況

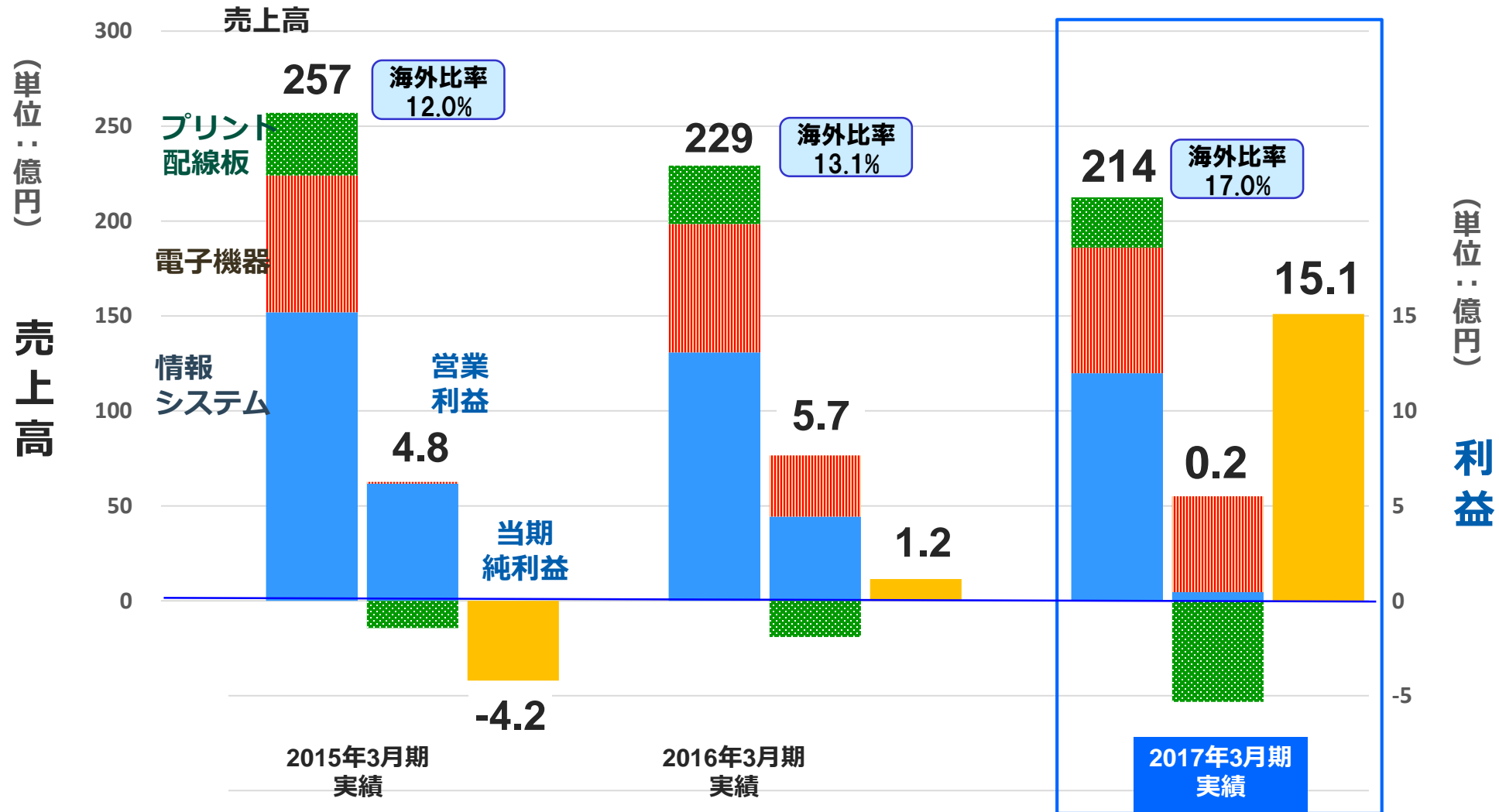
# 2017年3月期 業績サマリ

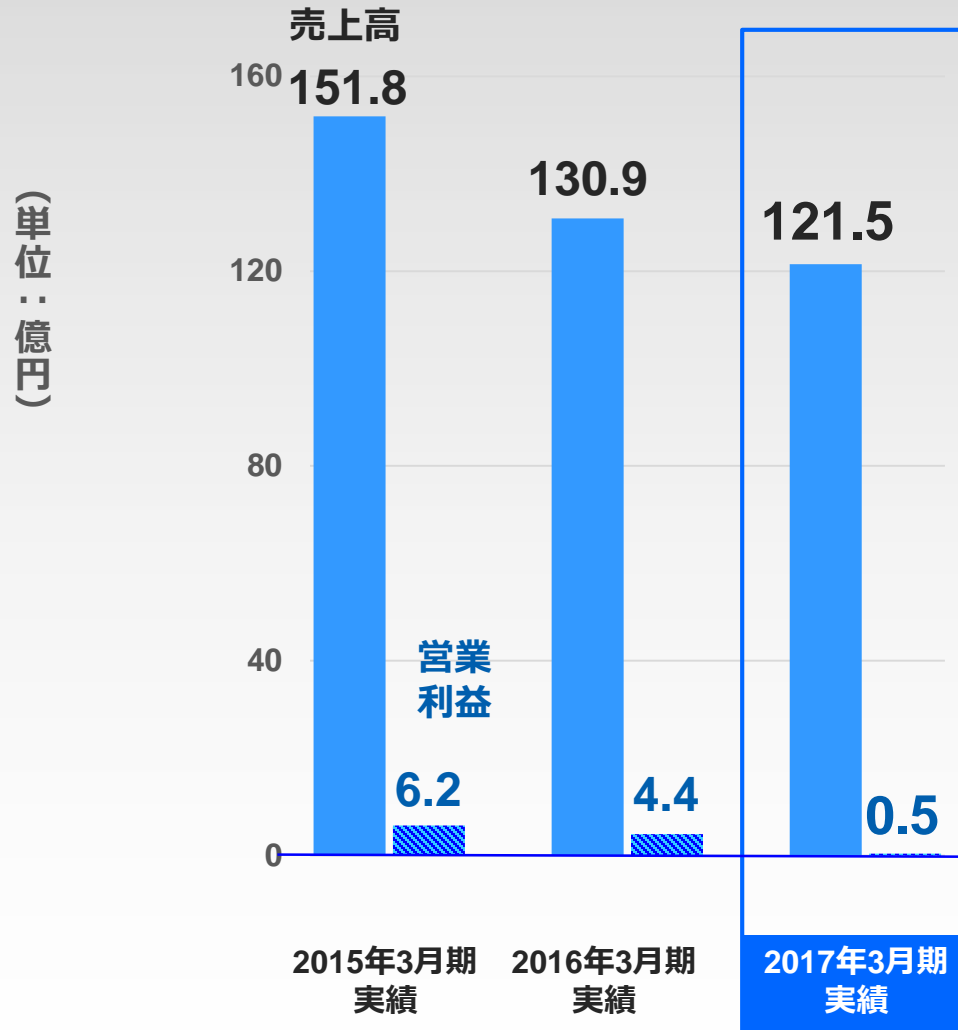
(単位：億円)

	2016年3月期 実績	2017年3月期 実績	増減
売上高	229.2	214.4	△14.8
営業利益	5.7	0.2	△5.5
経常利益	4.8	△0.6	△5.4
特別利益	0.1	36.9	36.9
特別損失	0.4	17.8	17.3
当期純利益	1.2	15.1	14.0
フリーキャッシュフロー-(FCF)	△1.0	36.2	37.2

# 2017年3月期 売上・損益概況

## ■ プリント配線板事業移管の影響を2セグメントで補い利益を確保





## 売上

- ・ 防衛省の海外調達が増加し国内調達が減少した影響で減収
- ・ 艦艇搭載情報表示事業による下支え
- ・ 事業領域の拡大に向けてパートナーへの提案を強化

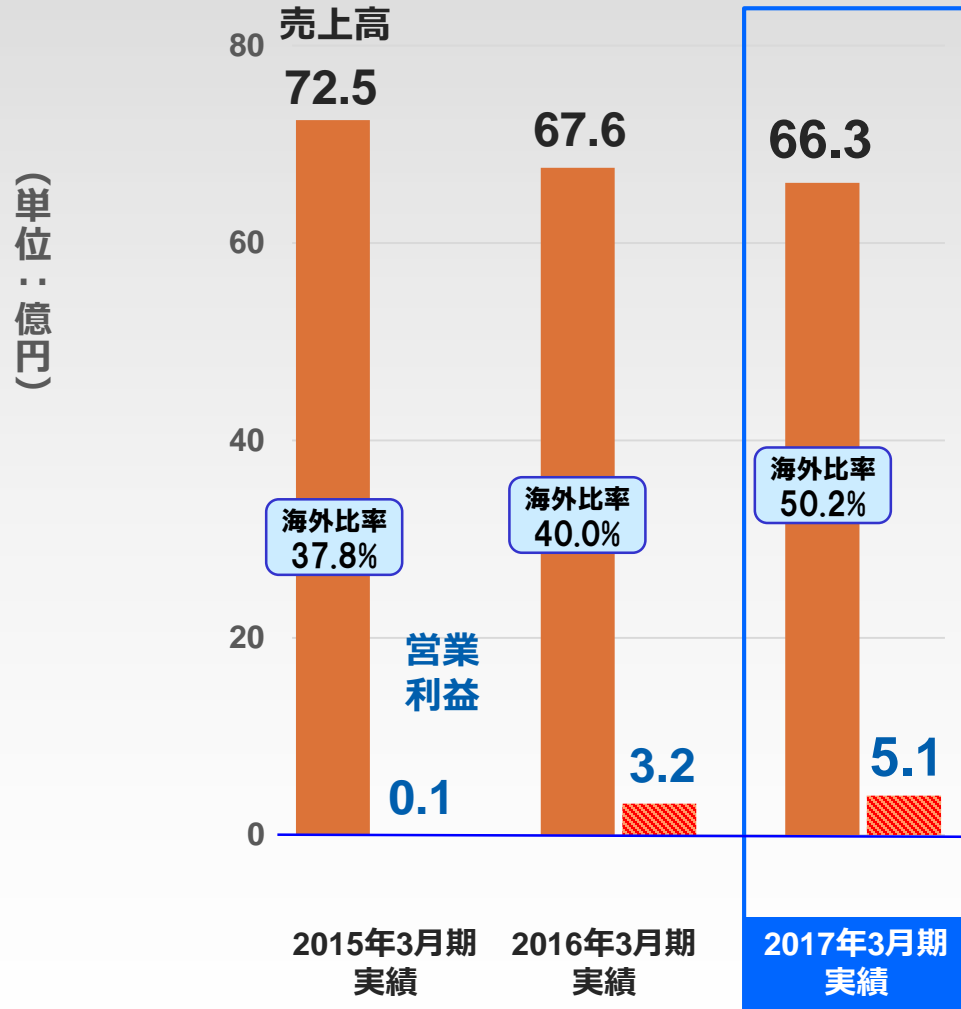
## 損益

- ・ 売上減少及び原価率悪化により減益

## Avioグループ内の取組み

- ・ 横浜事業所と福島アビオニクスで生産革新を推進

# 2017年3月期 決算 電子機器



## 売上

### 接合機器

- ・小型化部品製造用装置の需要の増加により売上増
- ・スマートフォン向け設備を中心に輸出増加

### 赤外線サーモグラフィ

- ・新製品を積極的に投入するも、感染症対策等特定需要向け赤外線機器減少等で減収

### 計測事業の譲渡により減収

## 損益

接合の増収、赤外の原価率改善により増益

## Avioグループ内の取組み

福島アビオニクスへ接合機器電源ユニットの生産を取り込み



## 接合機器 トピックス

### “つける”顧客価値提案により差別化を推進

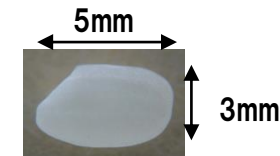
#### ① パッケージの小型化対応装置の需要増により、全自動真空シーム封止装置の販売好調が継続



5.0×3.2mm  
(2005年主力サイズ)

2.0×1.6mm(現在主力サイズ)

1.2×1.0mm(最小サイズ)



米粒

米粒の1/12の面積

#### ② 光デバイスの生産設備を複数台受注

水晶デバイス用装置で培ったノウハウを活かし、  
光デバイス市場へ全自動装置を展開



## 赤外線サーモグラフィ トピックス

### Ⅰ 差別化製品を投入 ～ 顧客価値創造へ注力 ～

#### ① 見えない温度を見る！ “オンリーワンソリューション”

##### ◇特殊波長モデル R300BPシリーズ

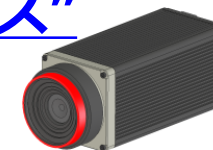
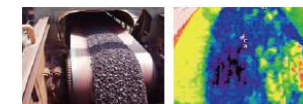
- ・ 炉内監視用・火炎越しサーモ ⇒加熱炉の設備診断
- ・ 研究開発用・窓越しサーモ ⇒新素材研究開発
- ・ 品質管理用・ガラス計測サーモ ⇒ガラス製造品質管理
- ・ 燃焼試験用・炎計測サーモ ⇒防災/建築関連研究



#### ② 安心・安全を見る！ “安価・高画質・多彩なインターフェース”

##### ◇ネットワーク型サーモ TS600

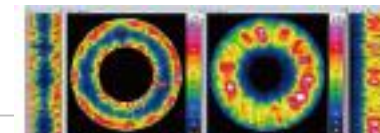
⇒防災・セキュリティ/製造ライン監視



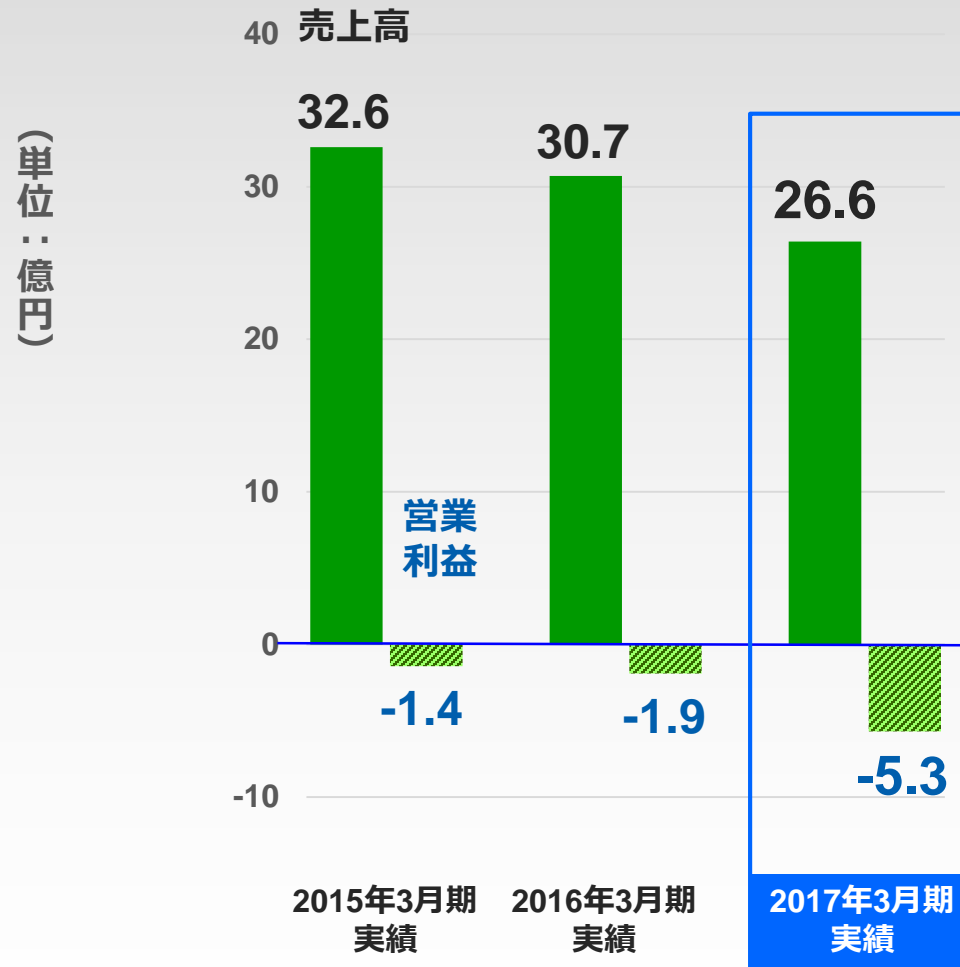
#### ③ 高速に温度を見る！ “最高峰のハイエンドカメラ”

##### ◇冷却型サーモ H9000

⇒ブレーキ/タイヤなどハイスピード計測



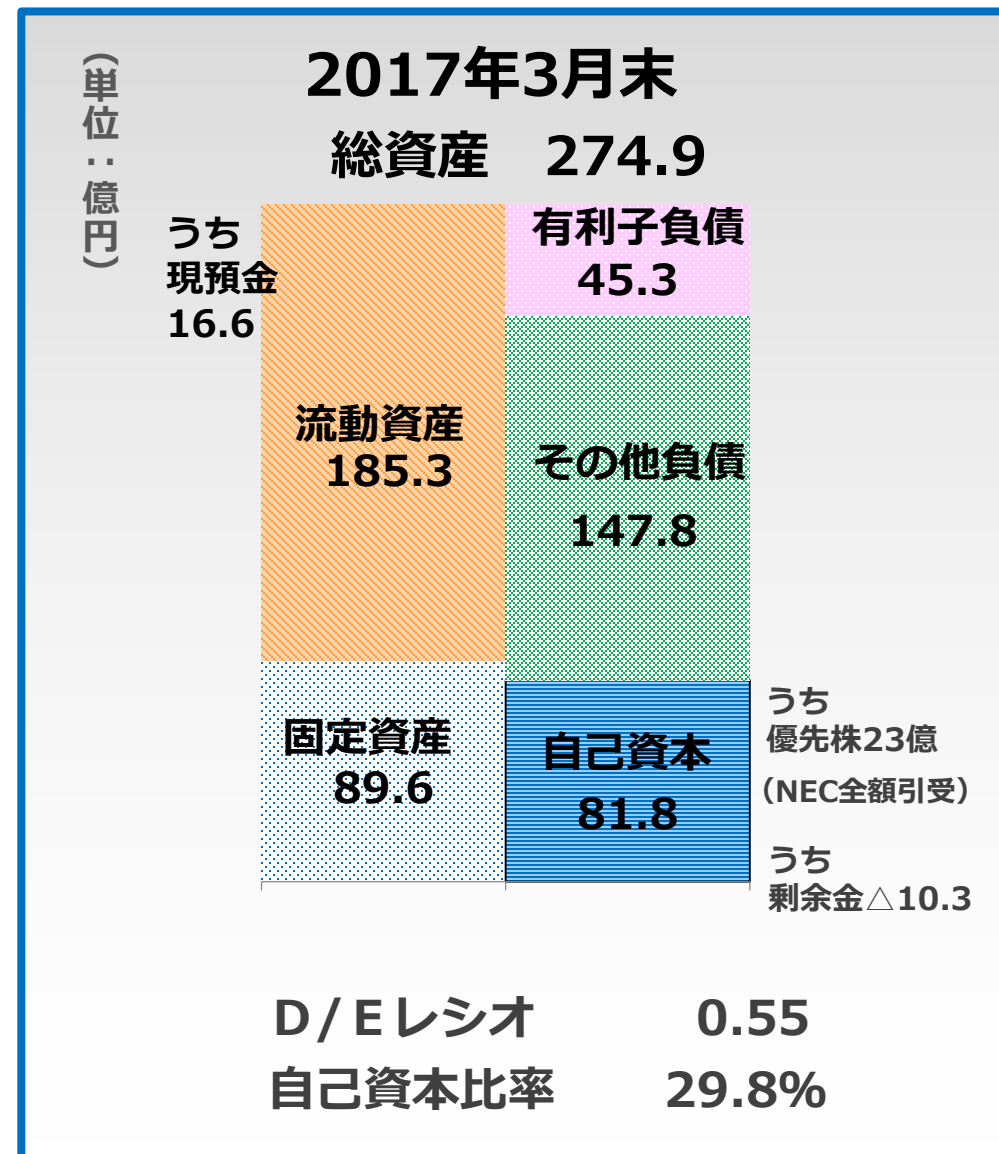
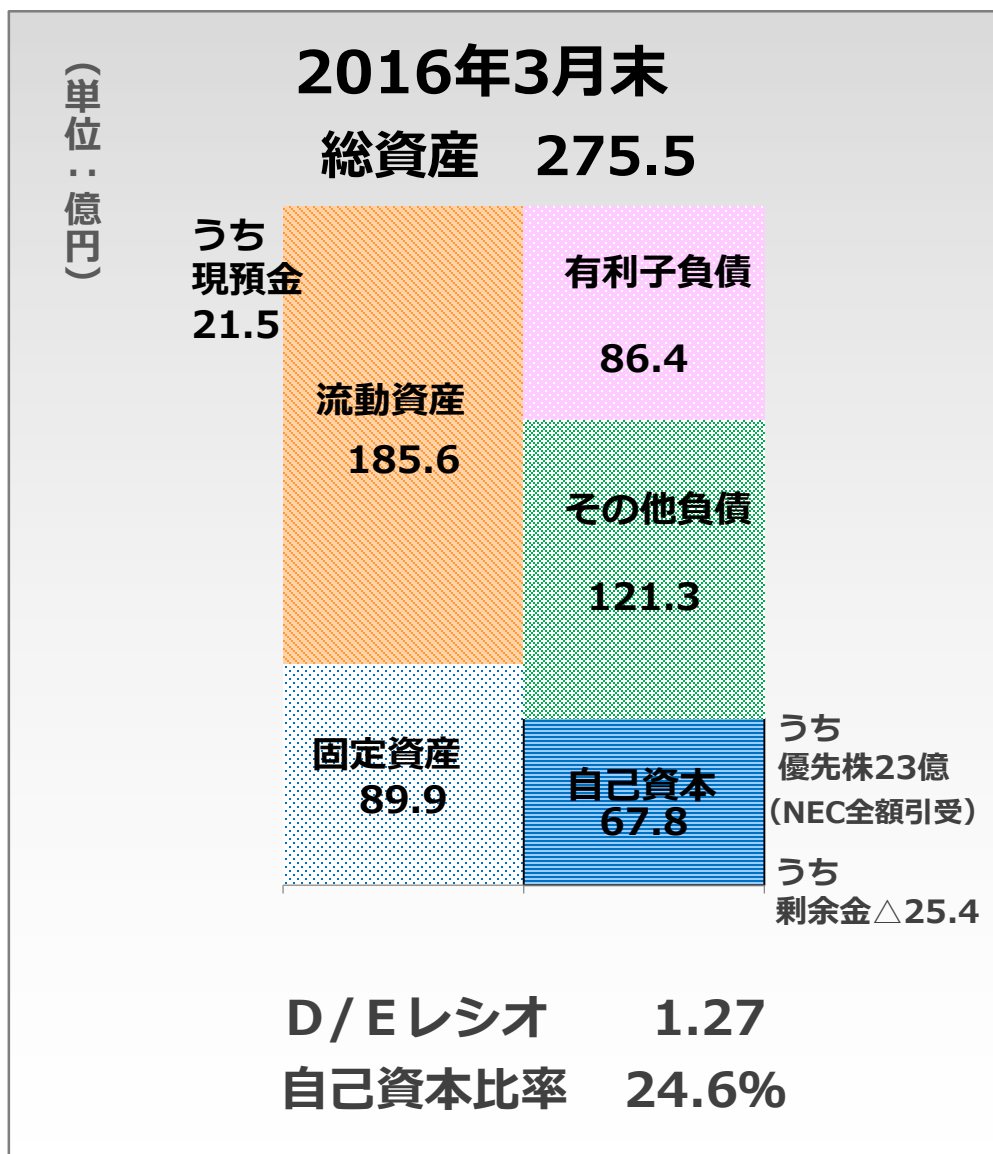
# 2017年3月期 決算 プリント配線板



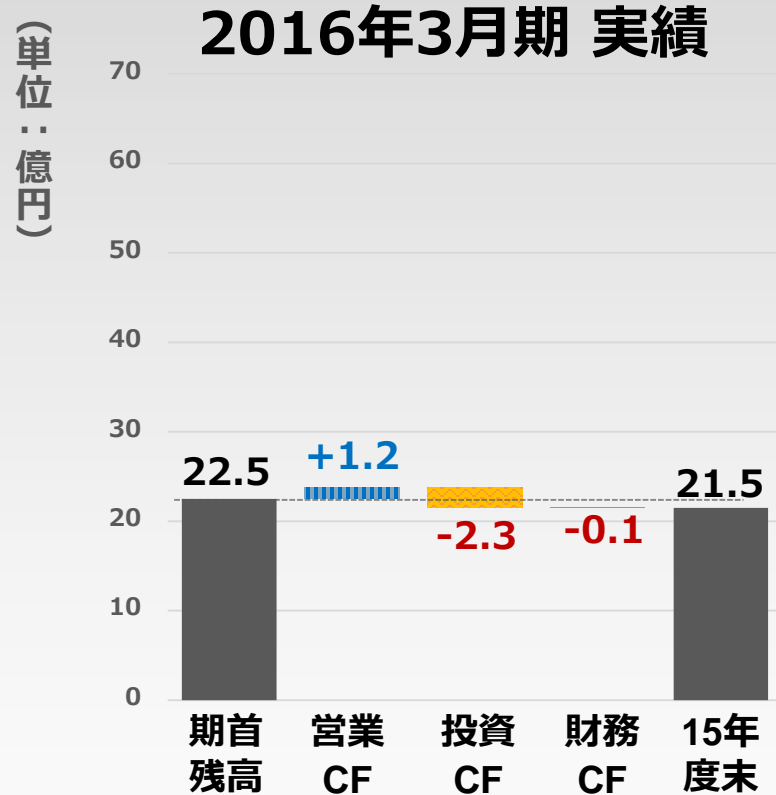
- ・ 事業移管は計画通り着実に進捗
- ・ 計測半導体<sup>\*</sup>用プリント配線板は、2017年3月末に生産終了し、OKIグループへの移管完了
- ・ 移管に伴う生産規模縮小により減益 (計画通り)

\* 計測半導体：  
計測機器用の基板及び半導体検査装置用の基板の略称

# 2017年3月期 決算 貸借対照表

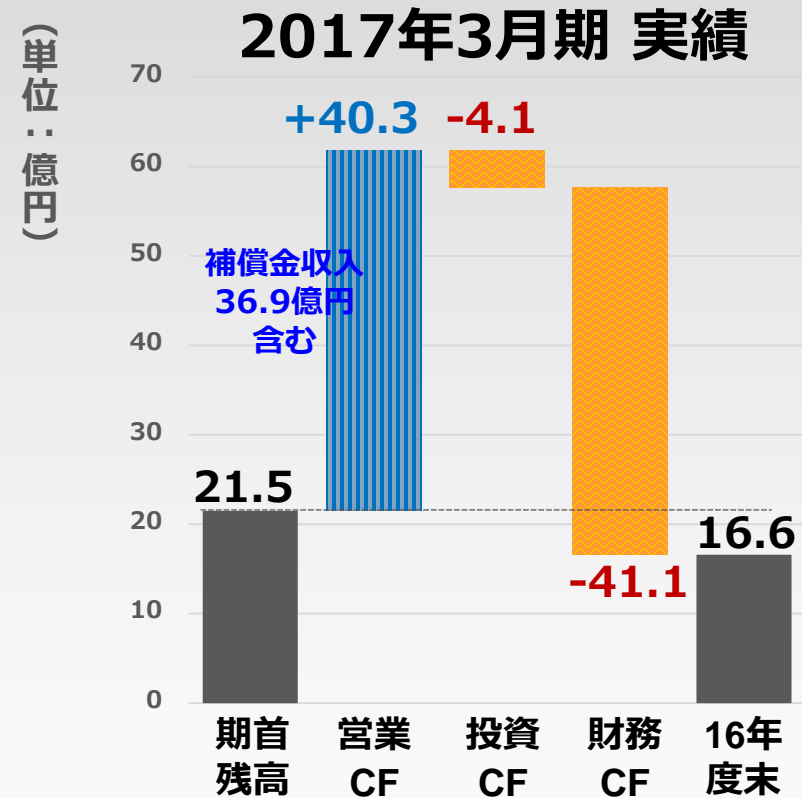


# 2017年3月期 決算 キャッシュフロー



### ・営業CF

税引前利益	+	4.5
売上債権	+	12.5
棚卸資産	△	1.5
買入債務	△	6.4
その他	△	7.9

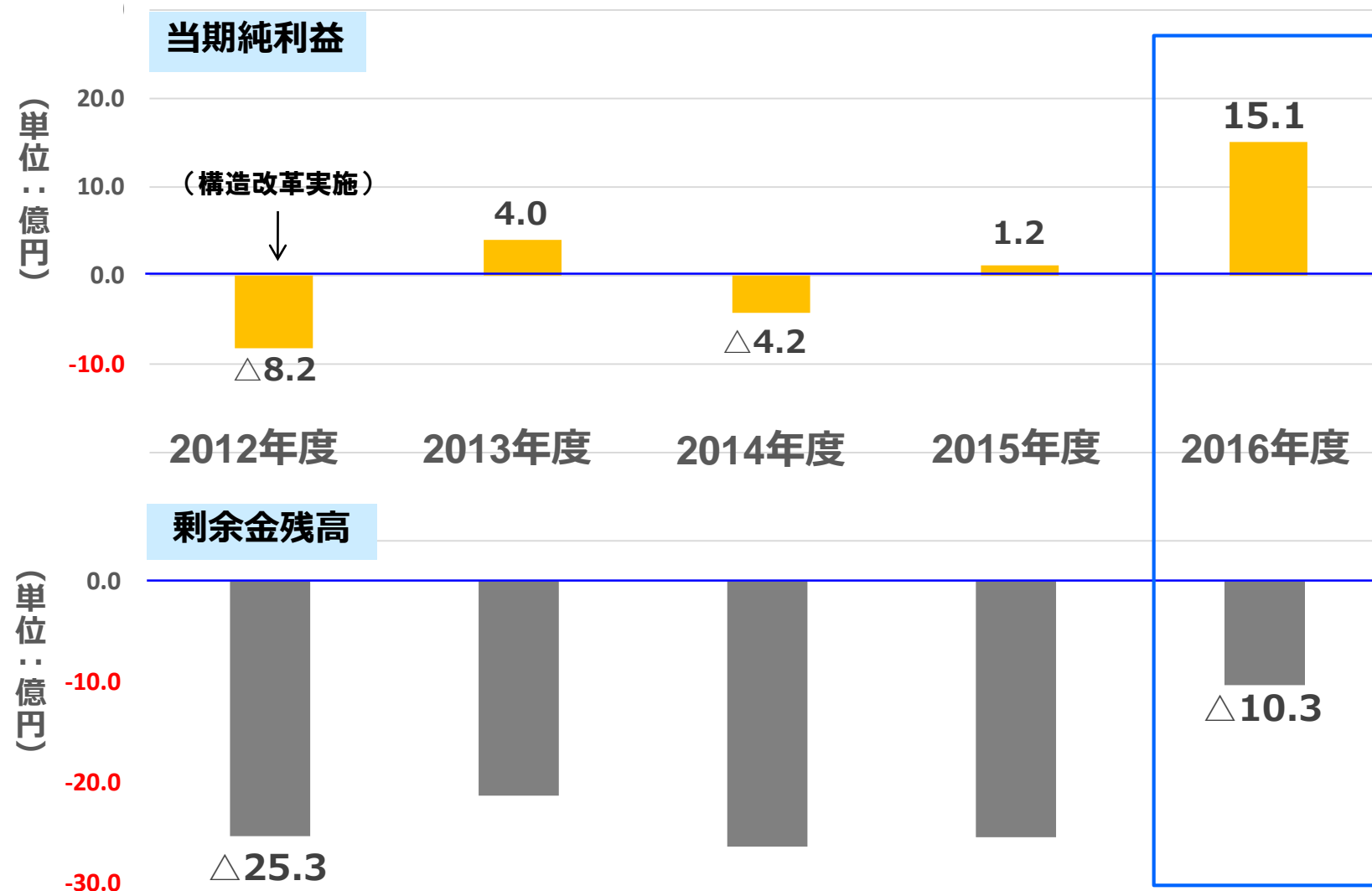


### ・営業CF

税引前利益	+	18.6
売上債権	△	0.4
棚卸資産	△	0.9
買入債務	+	3.9
その他	+	19.1

# 2017年3月期 決算 剰余金残高

## 特別利益計上により剰余金の改善が進展



1 . 2017年3月期決算

**2 . 2018年3月期通期業績予想**

3 . 中期経営計画の進捗状況

## “顧客価値経営の推進”

ニッチな領域での競争力強化・差別化を推進  
2つのセグメントで成長を目指す

### 情報システム (防衛・宇宙)

- ・ 社会の安心安全に貢献
- ・ リアルタイム処理、耐環境の実績・ノウハウ
- ・ 全社の技術基盤

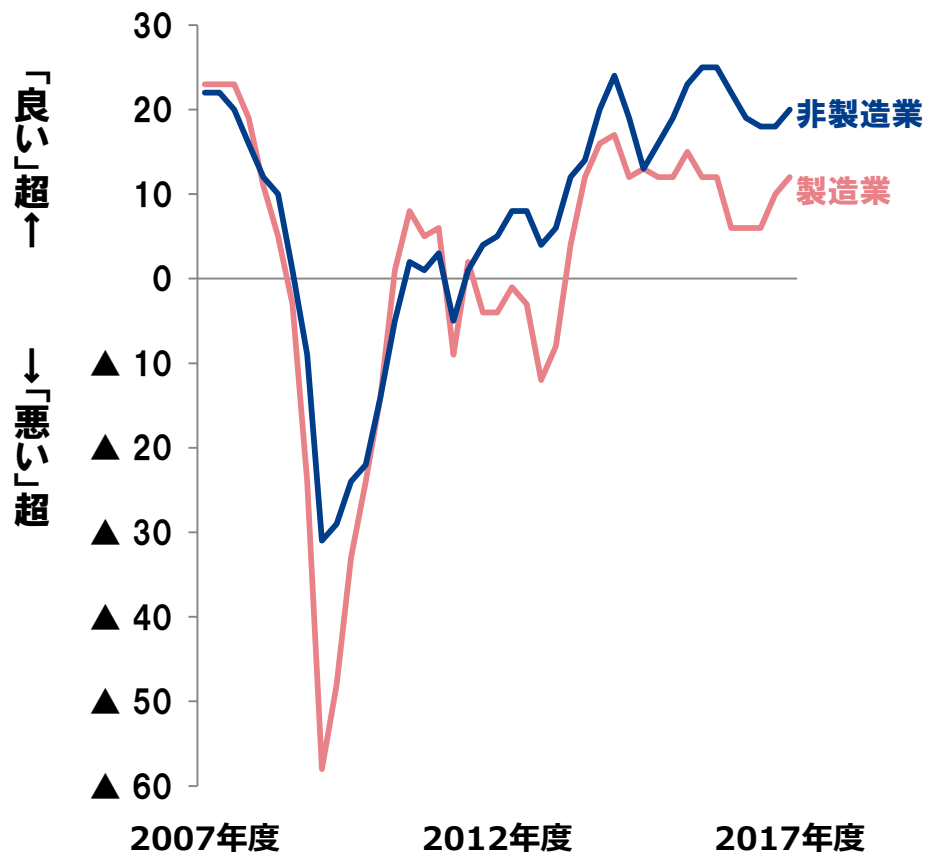
### 電子機器 (接合・赤外)

- ・ 接合4工法を活かした「つける」顧客価値
- ・ 見えないものを見せるソリューション



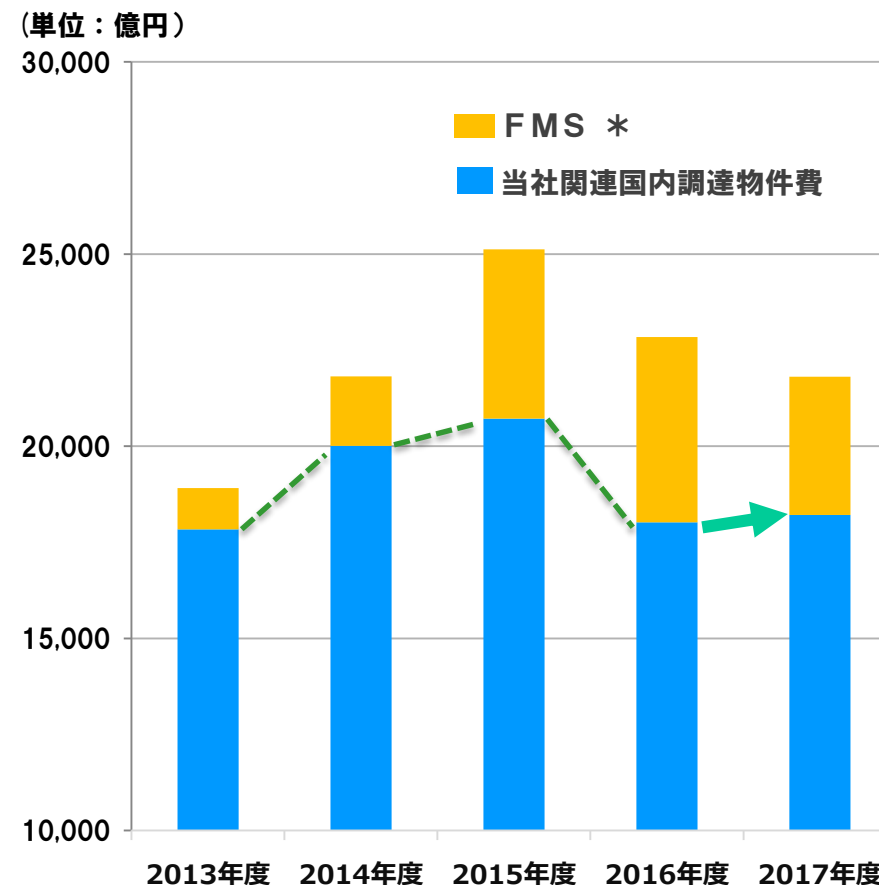
- ① **コンプライアンス（法令遵守）の徹底**
- ② **復配を目指し早期に欠損金を解消**
- ③ **資産効率の向上によるキャッシュフローの改善**
- ④ **QCDの継続的な改善**
- ⑤ **プリント配線板の事業移管を着実に実行**

## 日銀短観の業況判断DI (2017年3月)



(注) 資料：日本銀行

## 防衛予算の物件費の動向



(注) 防衛省「我が国の防衛と予算」防衛関係費データから当社独自試算  
(防衛省ホームページ <http://www.mod.go.jp/j/yosan/2017/yosan.pdf>)

\* FMS : Foreign Military Sales 有償援助調達と呼ばれ、  
アメリカ国防総省が行っている対外軍事援助プログラム

# 2018年3月期 連結業績予想サマリ

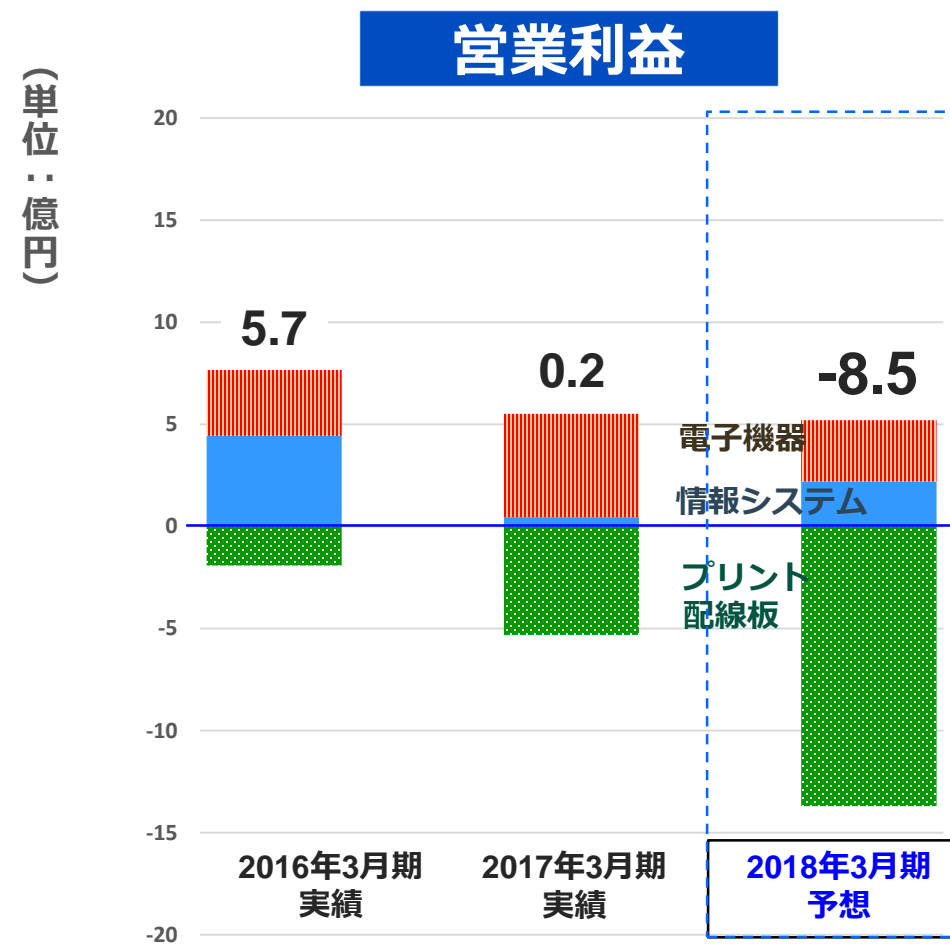
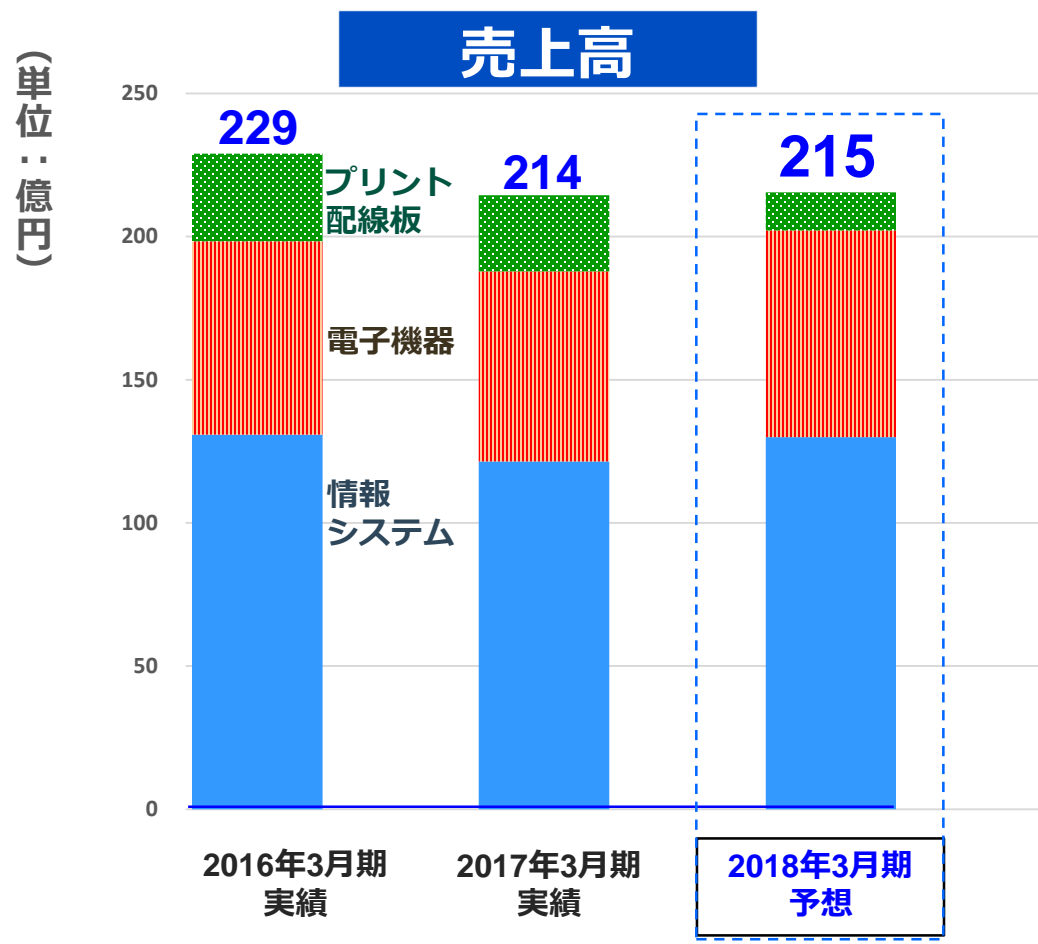
(単位：億円)

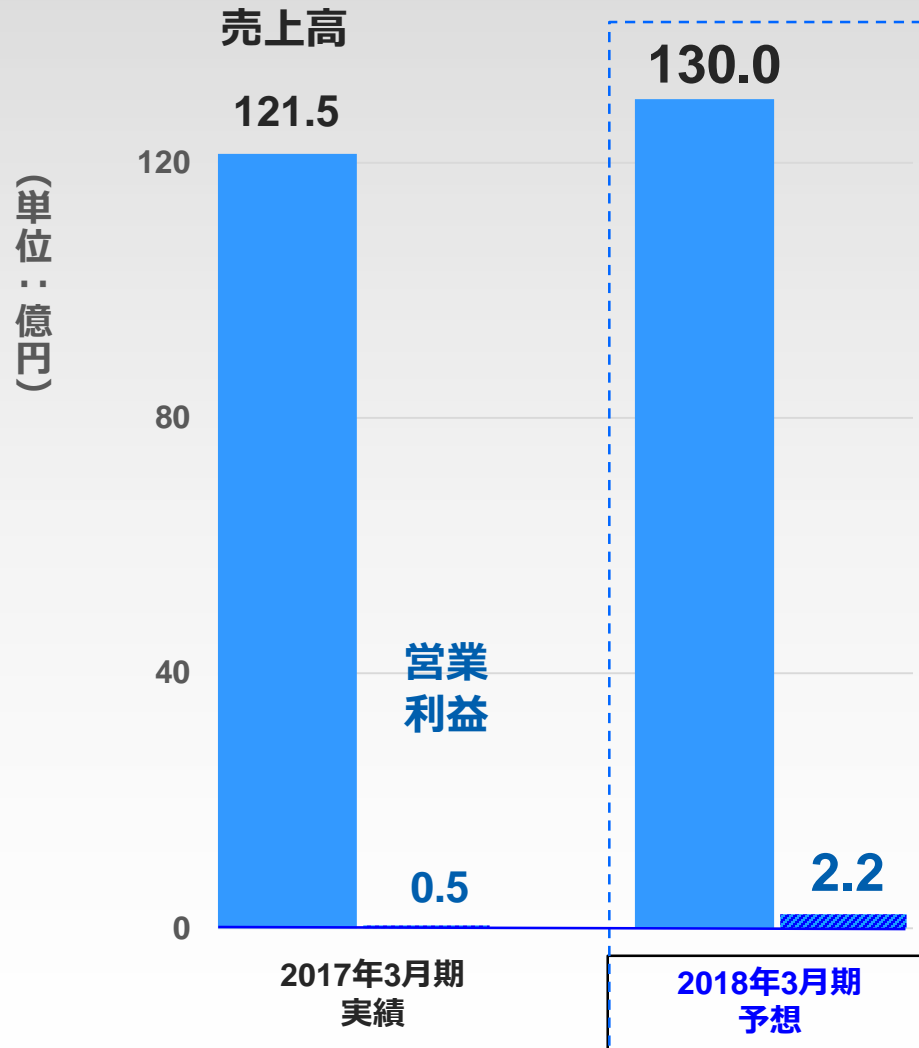
	2017年3月期 実績	2018年3月期 通期予想	増 減	(参考) 2018年3月期 継続事業
売上高	214.4	215.0	0.6	202.0
営業利益	0.2	△8.5	△8.7	5.2
経常利益	△0.6	△9.0	△8.4	4.7
当期純利益	15.1	2.5 <sup>*</sup>	△12.6	—

\* 2018年3月期は、JR東海からの補償金14.8億円を特別利益に計上予定です

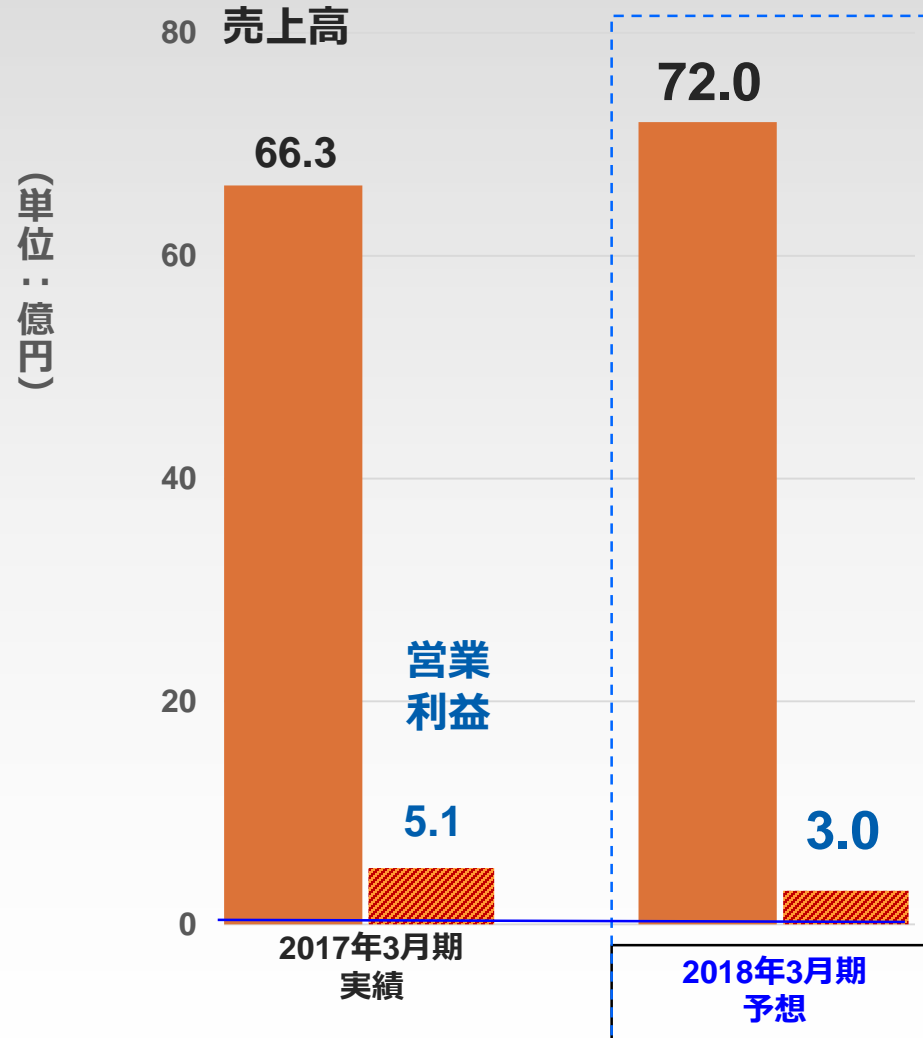
# 2018年3月期 業績予想 セグメント別

- 継続2セグメントの増収でプリント配線板の減収をカバー
- プリント配線板の事業移管に伴う損失により営業損失の見込





- 艦艇搭載情報表示事業を引き続き防衛事業の柱として堅持
- QCD改善活動の継続推進
- 当社の強みである耐環境技術を強化し、新領域進出に向けた技術を獲得
- 重工メーカーとの連携を深め、領域拡大を目指す
- 次期中期防衛力整備計画も視野に営業・技術一体による顧客提案活動を展開



- 商品力×営業力強化により顧客価値提案力を強化
- 新製品投入、成長のための開発投資を計画

### (接合機器)

- ・自動車部品市場のニーズを捉えた新製品投入
- ・新興国の4G等の進展に伴い需要が伸びている光デバイス市場に注力

### (赤外線サーモグラフィ)

- ・顧客価値を創造する差別化製品を市場へ継続して投入
- ・鉄鋼/電力/自動車/環境管理/公共監視市場に温度計測ソリューションを展開

1 . 2017年3月期決算

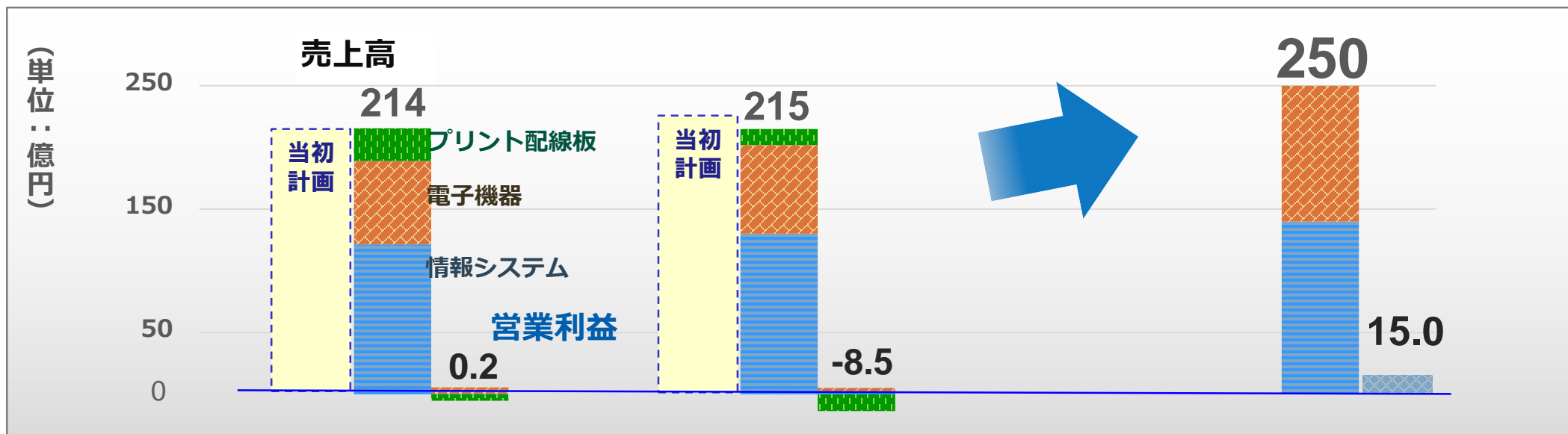
2 . 2018年3月期通期業績予想

**3 . 中期経営計画の進捗状況**

# 中期経営計画 進捗状況

1年目の2016年度  
売上高、営業利益  
は計画値確保

2016年11月発表の  
2020年度目標を目指す





— 創立60周年となる2020年に向けて —

## 次のステージへ

### *Challenge For The Future*

#### ステークホルダーの価値拡大

独自のエレクトロニクス技術とシステム技術により、お客様のために新しい価値を創造し、安全で豊かな社会の実現に貢献します。

#### 安心・安全への貢献の拡大

- ・ 顧客の安心・安全
- ・ 株主の安心・安全
- ・ 従業員の安心・安全
- ・ 社会の安心・安全

補足

## 2012～16年度決算 ファクトデータ

**連結損益計算書**

**セグメント情報**

**海外売上高、設備投資・減価償却費・研究開発費**

**連結貸借対照表**

**連結キャッシュフロー計算書**

**主要指標**

# 2012～16年度ファクトデータ（補足資料）

## ■連結損益計算書

（億円・％）

	2012年度 実績	2013年度 実績	2014年度 実績	2015年度 実績	2016年度 実績
売上高	257.5	272.8	256.9	229.2	214.4
売上原価	201.7	214.5	201.0	176.8	168.3
(原価率)	78.3%	78.6%	78.3%	77.1%	78.5%
売上総利益	55.9	58.3	55.8	52.4	46.1
(GP率)	21.7%	21.4%	21.7%	22.9%	21.5%
期間費用	53.8	51.9	51.0	46.6	45.9
(SGA比率)	20.9%	19.0%	19.8%	20.4%	21.4%
営業利益	2.1	6.4	4.8	5.7	0.2
営業外	1.1	1.2	0.5	0.9	0.8
経常利益	0.9	5.2	4.3	4.8	-0.6
(利益率)	0.4%	1.9%	1.7%	2.1%	-0.3%
特別利益	1.5	0.0	0.0	0.1	36.9
特別損失	15.8	0.8	4.0	0.4	17.8
税引前利益	-13.5	4.4	0.3	4.5	18.6
法人税等	-5.2	0.4	4.5	3.3	3.5
当期純利益	-8.2	4.0	-4.2	1.2	15.1
(利益率)	-3.2%	1.5%	-1.6%	0.5%	7.0%

# 2012～16年度ファクトデータ（補足資料）

## ■セグメント情報

(億円・%)

		2012年度 実績	2013年度 実績	2014年度 実績	2015年度 実績	2016年度 実績
情報システム	売上高	149.7	163.6	151.8	130.9	121.5
	営業利益	5.2	8.5	6.2	4.4	0.5
	(利益率)	3.5%	5.2%	4.1%	3.4%	0.4%
電子機器	売上高	70.9	72.0	72.5	67.6	66.3
	営業利益	-3.9	-3.0	0.1	3.2	5.1
	(利益率)	-5.5%	-4.1%	0.1%	4.8%	7.6%
プリント配線板	売上高	37.0	37.2	32.6	30.7	26.6
	営業利益	0.7	0.8	-1.4	-1.9	-5.3
	(利益率)	1.9%	2.3%	-4.4%	-6.2%	-20.0%
合計	売上高	257.5	272.8	256.9	229.2	214.4
	営業利益	2.1	6.4	4.8	5.7	0.2
	(利益率)	0.8%	2.3%	1.9%	2.5%	0.1%

# 2012～16年度ファクトデータ（補足資料）

## ■海外売上高

（億円・％）

	2012年度 実績	2013年度 実績	2014年度 実績	2015年度 実績	2016年度 実績
情報システム	1.1	0.4	0.8	0.3	0.1
電子機器	27.4	26.1	27.4	27.0	33.3
プリント配線板	1.3	1.6	2.7	2.8	3.1
合計	29.9	28.1	30.9	30.1	36.5
売上高比率	11.6%	10.3%	12.0%	13.1%	17.0%

## ■設備投資、減価償却費、研究開発費

（億円・％）

	2012年度 実績	2013年度 実績	2014年度 実績	2015年度 実績	2016年度 実績
設備投資	4.7	6.0	5.2	1.3	1.9
（売上高比率）	1.8%	2.2%	2.0%	0.6%	0.9%
減価償却費	6.7	5.3	6.2	4.5	4.7
研究開発費	6.7	6.1	3.7	3.5	4.4
（売上高比率）	2.6%	2.2%	1.4%	1.5%	2.1%

# 2012～16年度ファクトデータ（補足資料）

## ■連結貸借対照表

（億円）

	2012年度 実績	2013年度 実績	2014年度 実績	2015年度 実績	2016年度 実績
流動資産	198.6	207.0	198.8	185.6	185.3
固定資産	87.7	89.6	95.9	89.9	89.6
有形固定資産	64.2	64.0	62.9	60.1	58.3
無形固定資産	1.3	4.8	3.9	2.9	2.5
投資等	22.2	20.8	29.1	26.8	28.8
総資産	286.3	296.7	294.7	275.5	274.9
流動負債	131.5	139.7	111.0	112.1	115.6
固定負債	94.0	98.9	114.0	95.6	77.5
負債	225.6	238.5	225.0	207.7	193.1
資本金	59.0	59.0	59.0	59.0	59.0
資本剰余金	7.5	7.5	7.5	7.5	7.5
利益剰余金	-25.3	-21.3	-26.3	-25.4	-10.3
その他	19.6	12.9	29.6	26.8	25.7
純資産	60.8	58.1	69.7	67.8	81.8
負債・資本	286.3	296.7	294.7	275.5	274.9

# 2012～16年度ファクトデータ（補足資料）

## ■連結キャッシュフロー計算書

（億円）

	2012年度 実績	2013年度 実績	2014年度 実績	2015年度 実績	2016年度 実績
税引前利益	-13.5	4.4	0.3	4.5	18.6
減価償却費	6.7	5.3	6.2	4.5	4.7
売上債権増減	-7.5	-11.7	1.0	12.5	-0.4
棚卸資産増減	0.3	3.8	4.8	-1.5	-0.9
買入債務増減	1.3	-3.6	-1.8	-6.4	3.9
その他	-7.0	21.1	2.2	-12.3	14.4
営業C F	-19.7	19.2	12.7	1.2	40.3
設備投資	-6.3	-6.5	-5.3	-2.6	-4.1
その他	9.6	-8.0	0.6	0.4	0.0
投資C F	3.3	-14.5	-4.7	-2.3	-4.1
借入金増減	7.9	-5.9	-8.9	-0.1	-41.1
その他	14.8	-0.0	-0.0	-0.0	-0.0
財務C F	22.7	-6.0	-8.9	-0.1	-41.1
増減（合計）	6.3	-1.2	-0.8	-1.1	-4.9
前期末	18.3	24.6	23.4	22.5	21.5
当期末	24.6	23.4	22.5	21.5	16.6

# 2012～16年度ファクトデータ（補足資料）

## ■主要指標

（億円・％）

	2012年度 実績	2013年度 実績	2014年度 実績	2015年度 実績	2016年度 実績
総資産	286.3	296.7	294.7	275.5	274.9
純資産	60.8	58.1	69.7	67.8	81.8
自己資本比率	21.2%	19.6%	23.7%	24.6%	29.8%
有利子負債残高	101.6	95.4	86.5	86.4	45.3
D/Eレシオ	1.67	1.64	1.24	1.27	0.55
ネットD/Eレシオ	1.27	1.24	0.92	0.96	0.35
ROE	-13.6%	6.9%	-6.0%	1.7%	18.5%
EBITDA	8.7	11.7	11.1	10.3	4.9



## < 将来予想に関する注意 >

本資料に記載されている業績、財政状態その他経営全般に関する予想、見通し、目標、計画等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいております。これらの判断及び前提は、その性質上、主観的かつ不確実です。また、かかる将来に関する記述はその通りに実現するという保証はなく、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

その要因のうち、主なものは以下の通りであります。これらに限られるものではありません。

- ・官公庁の需要動向等による影響
- ・日本電気株式会社との関係
- ・価格競争
- ・技術革新への対応
- ・災害等の影響
- ・退職給付債務 等

将来予想に関する記述は、あくまでも本資料の日付における予想です。新たなリスクや不確定要因は随時生じ得るものであり、その発生や影響を予測することは不可能であります。また、新たな情報、将来の事象その他にかかわらず、当社がこれら将来予想に関する記述を更新し、公表する義務を負うものではありません。



**Avio**

[www.avio.co.jp](http://www.avio.co.jp)